



MSN コミュニティ

MSN コミュニティ

コミュニティ ホーム | お気に入りのコミュニティ | 言語 | ヘルプ

⚠️ 重要なお知らせ

MSN コミュニティ サービスは、2009 年 2 月をもちまして終了させていただきます。MSN のオンライン コミュニティ パートナーである Multiply にコミュニティを移行できます。詳細については、こちらをご覧ください。

www. 文法レベルでの自然学会. jp

grammar@groups.msn.com

新着情報



宇田雄一語録：教育直語

掲示板の一覧を表示

今すぐ参加

◀ 前の話題 次 の話題 ▶

☐ 返信を受信トレイに送信

文法レベルでの自然

物理論理学

宇田雄一語録

パンドラの電腦言語者

Web リンク集

ツール

返信

♥ おすすめ

メッセージ 1 / 7

投稿者 : ☹️ SourceCodeOf HumanGenome (元のメッセージ)

投稿日時 : 2005/08/21 13:11

そもそも教育というものは、
その本質は、
先代の持つ知識や技術を次代に継承させる行為であり、
その故に、教主育従があるべき姿であって、
最近に見られる
個性尊重、詰め込み式教育否定、育主教従の思想は、
これに反するが故に間違っている、
と僕は考えます。

教育によって次代が先代の到達点を出発点とするからこそ、
人類の進歩があるのであって、
教える事なしに育に徹するならば、
人類の文明というものは、
永遠に、古代文明の繰り返しに終始することでしょう。

僕の行なう教育は詰め込み式教育であり、
僕から学び終えるという事は、
僕のコピーとして誕生するということです。

赤子が親のコピーとして誕生する事が
その子の個性の否定とは成らないのと同様に、
詰め込み式教育によって僕のコピーとして誕生する事も、
誕生の時期が早ければ、
その子の個性の否定とは成らない、
と僕は考えます。

誕生した後で独自の発展を遂げれば良いだけのことだからです。

◀ 最初の返信

◀ 前へ 2-7 通を表示 : 総返信数 7 通 次へ ▶

最新の返信 ▶

返信

♥ おすすめ

メッセージ 2 / 7

投稿者 : ☹️ SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時 : 2005/08/24 17:47

僕の著書「古典物理学」は、
物理学の専門課程の教科書ではありません。

このことは、
物理学の専門課程の教科書を
僕の「古典物理学」のようなやり方で書くべきではない、
という考えを僕が持っている、
ということです。

僕は、
物理学の専門課程の教科の区分けについては、
大学学部レベルでは、
「初等力学」「電磁気学」「相対性理論」「解析力学」
「量子力学」「熱・統計力学」
という伝統的な区分けを踏襲すべき、
との保守的な考えを持っています。

ランダウやファインマンがやったような、
上記の伝統的な区分けの垣根を越えた再編成、
というものには僕は反対です。

僕の「古典物理学」は、
そのような伝統的な区分けの垣根を越えた再編成を、
その特徴の一つとして含みますが、
物理学の専門課程の教材には、
このような再編成は不相当だ、
と僕は考えるのです。

返信

おすすめ

メッセージ 3 / 7

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2005/08/30 17:08

具体的な事は良く知りませんが、
ゆとり教育とか新科目「総合」とか、
近年、教育界に異変が起こっているようです。

最近ようやく、これらに対する批判も活発化して来ているようですが、
前々から、僕は、上記異変にはかなり批判的です。
「なにやってんだ！」と怒鳴りたいぐらいに。

小中高の教育というものは、
児童生徒が
後々の進路選択において出来るだけ多くの選択肢を持てるように
設計されていないといけない。

したがって、
大学レベルおよびそれ以上の物理学を
高卒後の進路として生徒が選択したければ、
そのような生徒が如何に少数であろうとも、
そのような道は、
選択可能な進路として用意されていないといけないのです。

そのような進路を進む生徒にとって、
小中高段階で身に着けておくべき知識は
量的にも質的にも生半可なものではありません。

それを可能にするのは、
生徒が自習するにせよ授業を受けるにせよ、
初歩から順を追って発展的事項にまで到達できるように
良く練られた緻密なカリキュラムだけであって、
近年に見る教育の異変は、
せつかく多くの教育者が時間をかけて作り上げて来たそれを、
著しく劣化させる傾向です。

確かに、
学校は有形の教育しかして来なかった、
肝心なことは有形の教育からでは得られない、
などの批判は当たっているでしょう。
しかし、だからと言って、
それなら学校で無形の教育を行なおう、
と考えるのは間違いです。
なぜなら、それは学校には出来ない事だからです。
出来ない事を、やろう、しなくてはいけない、と言い出すと、
必ず無理やウソが生じます。
これは生徒にとって不条理です。

肝心なのは無形の学習であっても、
有形の学習が不要なわけではありません。
有形の学習は十分ではないが必要な大前提なのです。
無形の学習は、
有形の学習を消化した上で、
それに加えて生徒が独自に作り上げて行くものであり、
この部分に生徒の個性の入り込む余地が生じます。


生徒の個性については、
学校に出来ることは、せいぜい、
生徒の個性に発表の機会を与えて評価してやる事ぐらいでしょう。
生徒の個性を教育によって伸ばそう、
なんて出来もしないことをやろうとすると、
結果として、個性の管理、個性の画一化につながります。

個性を伸ばす、なんて大それた事を言ってる教育者は、
その前に、
自分の生徒の一人が卓越した個性を現したときに、
その優秀性を自分がもみ消しにかからないかを
省みってみるべきでしょう。

返信

おすすめ

メッセージ 4 / 7

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2005/09/02 17:43

小学校、中学校、高校、大学、の間には、
教育の分業体制が確立されていなくてはいけません。

小学校より中学校、中学校より高校、高校より大学の方が、
取り扱う学習内容のレベルが高くなっていて然るべきです。

この考えに対して、
「何だと？小学教育だってレベルは高いんだ！」
と反論する者は愚かです。

そのような考えは、
生徒の自分の発達に対する自覚を混乱させるからです。

幾何を例に取って言うならば、
中学数学でユークリッド幾何をやったら、
中学卒業と同時にユークリッド幾何も卒業して、
高校では、同じ幾何の問題を解くにしても、
ベクトルや行列を使った代数幾何の手法や、
関数とグラフを使った解析幾何の手法で解き、
高校では、もう、
ユークリッド幾何などという**そんな程度の低い**学習はしない、
のが正しいんです。

最近の高校数学の参考書を見て、
そこにユークリッド幾何学が入っている事に僕は気付きました。
中学数学にも同じものが入っているなら、
これは良くない事です。

同じ事を異なる段階の学校で重複して学習するということは、
分業の完成度が低い、ということだからです。

また、
レベルが低い、とけなされたからといって、
その様なけなし方をされないように、
下の段階の学校でもレベルの高い事をやることにする、
という考えも間違いです。

レベルの低い事をやる段階で
しっかりレベルの低い事をやっておく事が、
子供の発達にとっては重要だからです。

漢字の書き方や、日本の都道府県名とその県庁所在地名すべて、世界中の国名とその国の首都名、などの丸暗記は、大人から見ればレベルの低い事ですが、小学生の頃に一度経験しておくには値すると僕は思います。

その意味では、中学受験算数も、小学生のときにこれに夢中になる分には、一概に教育の病理と決め付けるべきではありません。

大学入試問題もまた然りです。高校生のときにこれに夢中になる分には、少し道草かもしれませんが、全く無益に尽きるとも言えないでしょう。

僕の言う「レベルが低い」というのは、問題が易しく解ける、という意味ではありません。難しいか易しいか、という事と、レベルが低いか高いか、という事は、別です。

僕は、近年の教育における異変が、数学や理科における、カリキュラムの重複を生じさせているのではないかと懸念しています。もしそうなら、これは分業の破壊であるから、いけない事です。


つまり、中学のカリキュラムに小学と同じ単元が入っていないといけないし、高校のカリキュラムに中学と同じ単元が入っていないといけないし、大学のカリキュラムに高校と同じ単元が入っていないのです。もちろん、高校のカリキュラムが内部で重複を生じている、とか、そういうのも、いけない事です。

そのような重複を含むカリキュラムは、僕の言う「緻密に良く錬られたカリキュラム」ではありません。

返信

おすすめ

メッセージ 5 / 7

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2005/09/03 18:21

社会科学教育において、法学は大学になるまで出て来ません。小中高校での社会科学教育には法学はほとんど全く出て来ません。僕は、これはおかしい、と思っています。

社会科学教育は、「寝た子を起こすな」主義の、無味乾燥なデータの羅列になっています。


僕は、社会科学教育の中心を法学にするのが良い、と考えます。歴史や地理や経済は、法をより良く理解するための参考資料、と位置付けるのです。

小学の社会科学で既に法学をやるのが良いと思います。中学の社会科学まで学び終えれば、日常生活に必要な法知識には一通り目を通した事になるようであってはいけない、と僕は思います。

返信

おすすめ

メッセージ 6 / 7

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2005/09/24 8:17

近年に見られる教育の異変は、大学の小学校化や小学校の大学化をその内容として含むのではないかと

と僕は危惧しています。

小学校の授業への新科目「総合」の導入や
大学の授業への、子供のおもちゃ遊びのような実験実習、の導入、
がその一部ではないか、と僕は思います。

「総合」のようなレベルの高い課題は、
生徒の自主的な取り組みとしては、
いくらでも早くから、いくらでもたくさん、
やればやるだけ良いのですが、
学校でのシステマティックな教育としては、
大学の卒業研究から、あるいは、学校教育の範囲を超えるもの、
と僕は考えます。
有形性、無形性の観点から、
「総合」は無形性が強いと思うからです。

実験実習は、
実験物理学のプロを目指す人がやるような高級な実験は別として、
基本的に小学中学のような低学年でやっておくべきことであって、
僕が子供の頃は、
学習研究社の小学生向けの月刊誌に
実験実習教材が付録として付いていたものです。
大学生にこのレベルの実験をやらせて、
それを新しい試みと称している人を見かけます。
低学年のときに、しっかり物をいじっておき、そのことによって、
高学年になったら、
一々物に触らずとも、言葉で言われただけで、実感が湧く、
というのが教育の正道だと僕は思います。
そうする事によって、
一々実験実習をやっていたのでは
時間が幾ら有っても足りないような大量の学習課題を、
要領良く消化できる学習能力や、
実験実習が不可能な高度な物理についても推論できるような
論法を、
高学年に進むに従って、生徒が身に着けて行くことが、
生徒の成長なのであって、
その逆をたどる事は幼児退行に他成りません。


小学校における算数教育について、
計算ドリルは時代遅れだ、とする意見がある一方で、
百マス計算がもてはやされたりする事は、
この分野が如何に混迷に満ちているかを良く表します。
百マス計算は計算ドリルでしょうが。
小学校の算数では計算ドリルが良いんです。
百マス計算でも良いですが、
もし、
計算ドリルでは甘味料が足りないから百マス計算、
という考えが理由ならば、
それは生徒を不当に甘やかす事であり、良くない事です。
大学で小学算数を教える必要が生じる、
などという馬鹿げた社会問題の一因は、
計算ドリルを時代遅れだとする誤った教育観にある、
と僕は思います。

小学校と大学は、
互いに異なる独自性を保って初めて、
分業を完全なものにする要素として機能します。
互いに他のお株を奪うような事をするのは、
教育システムの破壊につながります。
それが教育改革だなんて、大間違いです。

[返信](#)

[おすすめ](#)

メッセージ 7 / 7

投稿者:  SourceCodeOf.HumanGenome

投稿日時: 2005/09/24 8:24

【第4件について訂正】

誤:

日本の都道府県名とその県庁所在地名すべて、
世界中の国名とその国の首都名、などの丸暗記は、
大人から見ればレベルの低い事ですが、
小学生の頃に一度経験しておくには値すると僕は思います。

正:

日本の都道府県名とその県庁所在地名すべて、
世界中の国名とその国の首都名、などの丸暗記は、
大人から見ればレベルの低い事ですが、
小学生の頃に一度**チャレンジしてみる**には値すると僕は思います。

◀ 最初の返信 ◀ 前へ 2-7 通を表示 : 総返信数 7 通 次へ ▶ 最新の返信 ▶

◀◀ [宇田雄一語録に戻る](#) ◀ [前の話題](#) [次の話題](#) ▶ [返信を受信トレイに送信](#)

注意 : Microsoft は、このコミュニティの内容について、一切の責任を負いません。ここをクリックすると、詳細情報が表示されます。

家族のインターネット MSN プレミアムウェブサービス

[MSN ホーム](#) | [Hotmail](#) | [ニュース](#) | [ショッピング](#) | [マネー](#) | [スペース](#)

[ご意見ご感想](#) | [ヘルプ](#)

©2006 Microsoft Corporation. All rights reserved. [使用条件](#) [プライバシー](#) [迷惑メール対策](#)